

レポート作成時におけるチェック事項

レポート作成時、下記のチェック項目を☑のようにチェックし、評価シートの下にこの紙を添付して、レポートを提出すること。

レポートについて

- 表紙に氏名、実験日が明記されている

- 記述する内容を順番に並べている
- 章・節の番号を付けている
- 図・表がある場合、図表の題と通し番号をつけて、本文中で説明している
- 報告書の対象となる課題を簡潔に記述している
- 各課題で実装する画像処理技術についての説明がなされている
- ページ番号が記載されている

- プログラムの解説（処理の流れ）は丁寧に行われている
- アルゴリズムの説明は丁寧に行われている
- 入力データ値とその実行結果を記述している
- 入力画像データを明記している
- 作成したプログラムが生成するデータについて説明がある
- 出力データを外部ツールで加工・表示する場合に、ツール名と使用目的の記述がある
- 実行結果を示す画像やグラフが提示されている
- 実行結果を複数記載している
- 試してみたが、できなかった機能における原因と理由を記述している
- 考察は十分である（処理結果について、自分の見解が記述されている）
- 自分の言葉で記述されている（教科書の丸写しをしていない）
- ソースコードがページ内に収まっている
- 参考文献を記述している

例：コンピュータ画像処理 田村 秀行 編著： 発行 オーム社出版局

ソースリストについて

- プログラム作成にあたり、自分なりに調べたことや工夫した点をまとめている
- 関数／ルーチン名、変数名、定数名が正しく命名されている
- データ構造を説明し、入力引数、変数、戻り値についても説明している
- プログラムのヘッダー（プログラム名、機能、学生番号、所属、クラス、名前、製作年月日）を記述している
- データ、または変数の説明を記述している
- 各関数／サブルーチン／プロシジャ／モジュールの説明を記述している
- 構造体などの変数はまとめてヘッダファイルに記載されている
- 論理構造に従ったインデントが行われている